

令和5年度第2回豊田市学校給食センター運営委員会 議事概要

日付：令和6年2月9日（金）

開催方法：書面

委員：

<参加者> 15名

- 委員長：小松 ゆかり（小中学校長代表）
- 副委員長：田口 真穂（小中学校長代表）
- 委員：石田 明子（こども園園長代表）
- 嶋崎 由美（こども園園長代表）
- 坂井 円（こども園保護者代表）
- 江島 徹（豊田市PTA連絡協議会代表）
- 高橋 絵里子（小中学校給食主任代表）
- 伏見 珠穂（小中学校給食主任代表）
- 森岡 高恵（栄養教諭・学校栄養職員代表）
- 重田 玲子（栄養教諭・学校栄養職員代表）
- 竹内 清美（豊田市保健所長）
- 安藤 伯秋（豊田加茂学校保健会会長）
- 富口 潤之輔（豊田加茂薬剤師会理事）
- 成田 美樹（市民公募委員）
- 神谷 雅之（市民公募委員）

<要点>

議題 給食費の無償化について

委員会の意見として、給食費を無償化することに賛成との結論を得た。

議事の摘要

(議題 給食費の無償化について)

<意見等>

委員 今後の物価高騰や市の財政状況により、給食の質を落とさざるを得ない場合が懸念される。物価高騰の現在、給食はあらゆる子どもたちの「食」を守る非常に大切なものであり、収入の低い家庭の子どもの「食」を守るためにも、給食の質を絶対に落とすべきではない。

委員 こども園では、所得階層等により、給食費が既に無償化されている家庭もあり、経済的負担のある家庭への配慮は十分行われているが、全家庭平等の考えのもと、公費の確保ができるのであればよい。予算が十分でなく食材や品数、給食の質の低下にならないように、今後も現在と変わらない給食が提供されることを希望する。

委員 保護者としては有難い。以前から給食費滞納等の問題もあり、無償化されることで解消されると思われる。ただし、食材の高騰や人件費等の対応は可能か心配である。

委員 子育て世代にとって、少しでも経済的な負担が軽減されることは、歓迎されると考える。市の財政負担が増えた部分での対応は今後考える必要がある。

委員 給食費の滞納者もいるなかで、学年費の集金が困難な家庭もあり、より充実した学習を行うためにも、無償化は有難い。

委員 滞納の督促に係る事務負担の軽減が見込まれる。また、継続的な財源が必要であるため、行財政改革の推進の一助となる。

委員 オーガニック給食が全国的に広がりつつあるなかで、無償化とオーガニック給食の両立が市の財源で賄えるか懸念される。地産地食、オーガニック、無償化の3点を同時に考えていく豊田市であってほしい。

議決：賛成多数により、給食費の無償化について賛成とする。